

請 願 書

石垣島への自衛隊配備を容認せず、計画中止を求める請願について

平成28年2月26日

石垣市議会議長 知 念 辰 憲 殿

石垣市登野城72番地

八重山地区労働組合協議会気付
石垣島への自衛隊配備を止める住民の会

共同代表 上 原 秀 政

〃 下 野 栄 信

〃 仲 座 初 枝

紹介議員

長 浜 信 夫
井 上 美智子

請願

石垣島への自衛隊配備を容認せず、計画中止を求める請願について

請願の趣旨

防衛省は、昨年11月26日、若宮防衛副大臣が来島し、警備部隊や地対空・地対艦のミサイル部隊500～600人を配備予定、配備先候補地は「平得大俣の東側にある市有地及びその周辺」と報告し、その受け入れを要請しました。

石垣島への自衛隊配備について、政府、防衛省は中国脅威論を背景に、島への攻撃の抑止力と、災害時の対応を理由に挙げています。観光の島、国境の島に住む私たち住民の安全と平和は、自衛隊配備、軍事力強化に頼らなければつくれないのでしょうか。かえって、基地配備は、近隣諸国との緊張を高め、不測の事態やテロや軍事攻撃の対象になることは明らかです。紛争にならないように外交力を発揮することが安全と平和を築く道です。

自衛隊基地を置くことは、候補地周辺だけの問題ではありません。今後の石垣市の街づくり、産業、市民の暮らしにかかわる重要問題です。

石垣市は、これまで、基地のない平和な島、観光の島として発展してきました。これからも、島の安全、平和は、憲法9条を生かした積極的な外交と市民交流、経済・文化交流等によってこそ築かれます。今後、中国のクルーズ船をはじめ国内外の観光客誘致を進める石垣市にとって、島のどこであれ自衛隊基地が作られることは、観光の島としての発展を妨げる大きな要因になります。また、住民の安全、防災、地域経済の活性化は、自衛隊配備でなく、消防力の充足や防災計画、経済振興や医療・福祉・教育などの整備充実によってはかれるべきです。

何よりも、自衛隊配備の候補地周辺の開南・嵩田・於茂登の3地区は候補地への配備に反対を決議しております。この思いは3地区だけのことではありません。私たちは、島の自然と暮らしと平和を守り、未来の子ども、孫たちに基地のない平和な島を手渡したいのです。

以上の理由により石垣島への自衛隊配備を容認せず、計画中止を求める請願をいたします。